

# 第 21 回技術倫理協議会議事録

日 時 2008 年 5 月 13 日 (木) 17 時 30 分～19 時 30 分

会 場 土木学会会議室

委 員 議長：池田駿介 (土木)

委員：皆川 勝 (土木)、細谷陽三 (技術士会/代;中沢)、榎田晴美 (技術士会)、高橋信之 (建築)、  
椿原 治 (工学教育)、鳥飼誠之 (原子力)、矢野眞理 (原子力)、小野京右 (機械)、  
大輪武史 (機械)、山田郁夫 (工学アカデミー)、後藤達乎 (化学)、佐々木三郎 (電気)

事務局：稲垣 一 (土木)

## 議 事

1. 前回議事録確認
2. 本協議会の今後の運営体制
3. 今後の検討課題とシンポジウム
4. 各学協会の報告

## 配布資料

- No. 21-1 技術倫理協議会名簿
- No. 21-2 前回 (第 20 回) 議事録 (案)
- No. 21-3 技術倫理協議会事務局担当学会の交替について (ご依頼)
- No. 21-4 技術倫理協議会運営規定
- No. 21-5 技術倫理協議会の会費等運営内規 (案)
- No. 21-6 技術倫理協議会ホームページ
- No. 21-7 今後の話題提供
- No. 21-8 WebELS (Web-based e-learning System) ホームページ
- No. 21-9 千葉大学ロボット憲章

## 議事メモ

### 1. 前回議事録確認

- ・ 2. 3) の「椿委員」は「椿原委員」に修正する。
- ・ 2. 6) は 3. の内容とする。
- ・ 4. の (土木) の「倫理委員会」を「倫理・社会規範委員会」に修正する。
- ・ 4. の (建築) の「ヘルプラアイン」を「ヘルプライン」に修正する。

事務局は以上を修正し、E-メールで出席者に配信する。

以下のとおり補足説明があった。

- ・ 2. 2) のプレスで公表は出来るだけ速やかに実施する。(池田議長)
- ・ 2. 4) に関し、土木学会ホームページの倫理・社会規範委員会中に技術倫理協議会のページ (資料 No. 21-6) を開設した。学会の規約上トップページに設定できないため前記のとおりとした。
- ・ 3. の会費に関して原子力学会は理事会の承認を受け予算申請することとなった。
- ・ 土木学会による事務局の引継ぎについては、理事会において資料 No. 21-3、21-4 および 21-5 によって説明し承認された。

なお、会費納付について、振込先口座等を事務局から協議会構成団体に通知することとした。

### 2. 本協議会の今後の運営体制

#### 1) 幹事の選任

榎田晴美委員 (技術士会) および三木哲也委員 (電子情報通信学会) が指名され、了承された。

#### 2) 運営規定

各構成団体の理事会において資料 No. 21-4 を承認していただくことを確認した。

### 3. 今後の検討課題とシンポジウム

シンポジウムについて次のとおりとした。

- ・次回において、土木学会よりシンポジウムのプロポーザルを提供して頂き、検討する。なお、プロポーザルは項目を箇条書きにした程度のもので可とする。
- ・弁護士や企業の法務関係者などから、組織の自浄作用の仕組みやヘルプラインについて話題提供して貰うこととし、その人選について次回、小野委員よりご提案頂く。
- ・テーマを決めた後、シンポのためのWGをつくり、責任者を決める。
- ・会場は、建築学会や土木学会等の収容能力が大きい講堂を有する団体に提供して頂く。  
主な意見は以下のとおり。
- ・研究者の倫理（技術者の倫理は実績アリ）、研究の倫理をテーマとしてはどうか。
- ・12月からの新公益法人への移行に関連して、ガバナンス（内部統括制度、懲罰、内部告発、ヘルプライン）はどうか。
- ・法律的フォロー、社会系の人たちとの意見交換が必要
- ・学生に対する技術倫理教育（実績5~6年）の成果や効果への評価をテーマとしてはどうか。
- ・論文の二重投稿（英文と和文）について議論が必要

#### 4. 各学協会の報告

- ・機械；内部通報に対する規程を検討中。行動の規範をどうするか、勉強する。
- ・技術士；倫理要綱の見直しについてWGを立上げ検討中。月刊誌500号記念号は倫理を前面に出す。
- ・アカデミー；文科省の国立情報学卒でWebELS（Web-based e-learning System／資料No.21-8参照）を開発した。
- ・工学教育；8月1日～3日に年次大会を開催する。技術者倫理教育の新しい流れを取上げる。
- ・土木；4月22日の倫理・社会規範委員会で懲戒について議論。不祥事が発生した場合に学会として社会に発言していくことの必要を確認。特に談合決別についてどう外部発信すべきか、検討することとした。
- ・原子力；3月の年次大会で技術者倫理のセッションを設けた。7月11日に倫理研究会を開き、倫理規定に対する率直な意見を聞く（非公開）。9月4~6日秋の大会で98の不適切事例に対する評価の結果、再発防止策を取上げる。
- ・化学；3月に春の年次大会開催、倫理について3氏が講演した。井上先生を中心に倫理綱領改定、不祥事について3年間検討してきたが、メンバーを半分ほど交代する。
- ・電気；8月に行動規範、事例集を教科書にの研修会を行う。3月20日の全国シンポで事例集を配布(3,000)した。シンポジウムの質疑では倫理の教育方法に統一性を望む意見が多い。
- ・建築；①倫理教育に関する小委員会（若手向け）、②社会人技術者を対象にした事例集（収集700事例から30例に編集予定）の作成、③倫理規定の各国語訳、を実施中。

#### 5. その他

- ・議事録のホームページ上公開について、次回議論する。
- ・次回 7月15日（火）17：30～とする。
- ・当協議会の英語名について、事務局は既往の議論を調べておく。